

水稻もち品種「ふさのもち」の栽培暦 (Ver.2)

千葉県・千葉米改良協会

移植時期と成熟期

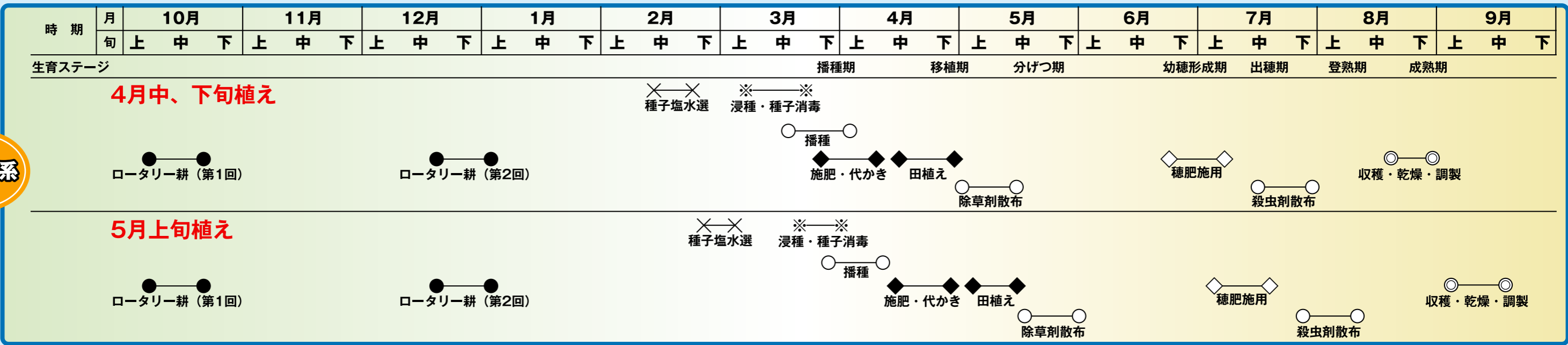
★移植時期の考え方

- 4月20日移植の場合の成熟期は8月31日頃となる（千葉市）
- 5月10日移植の場合の成熟期は9月10日頃となる（千葉市）
- 「ふさのもち」を4月中、下旬植えの「コシヒカリ」より遅く収穫する場合は、移植時期を5月10日以降とする。

生育・収量の目標値

箱当たり播種 (g)	栽植密度 (株/m ²)	幼穂形成期の生育			穂数 (本/m ²)	一穂粒数 (粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	精玄米重 (kg/10a)
		茎数(本/m ²)	草丈(cm)	葉色値(SPAD)					
150~170 (催芽初)	18.5 (株間18cm)	550~650 (30~35本/株)	60~75	38~42 (葉色板4~4.5)	360~400	70~75	85~90	23.0~24.0	550~600

作業体系



施肥体系・栽植密度

★施肥の考え方

- 幼穂形成期の目標生育量を得るための基肥窒素量は、表1と表2のとおり。
- 幼穂形成期の目標生育量が得られたら、穂肥は出穂前18~10日（幼穂長1~10cm）に窒素及び加里をそれぞれ3kg/10a施用する。なお、目標生育量を上回った場合は出穂前10~7日に遅らせて施用する。

表1 基肥施用量 (4月移植)				表2 基肥施用量 (5月移植)				表3 穂肥施用量		
施用成分 (kg/10a)				施用成分 (kg/10a)				施用成分 (kg/10a)		
	N	P ₂ O	K ₂ O		N	P ₂ O	K ₂ O		N	K ₂ O
壤質土	6	8~9	7~8	壤質土	4~5	8~9	7~8	壤質土	3	3
砂質土	7	8~9	7~8	砂質土	5~6	8~9	7~8	砂質土	3	3
粘質土	5	7~8	6~7	粘質土	3~4	7~8	6~7	粘質土	3	3

★栽植密度

○収量・品質の安定のため、栽植密度は18.5株/m²（坪60株植え）とし、極端な疎植にしない。

成熟期判定

★成熟期の予測と判定法

- 収穫時期の目安は出穂期からの日平均気温の積算値が900~1,100℃となる時期で、平年では出穂36~44日後。
- 収穫適期は帯緑色歩合が15%の時期である。
- 刈り遅れは玄米品質を低下させるので注意する。

乾燥・調製

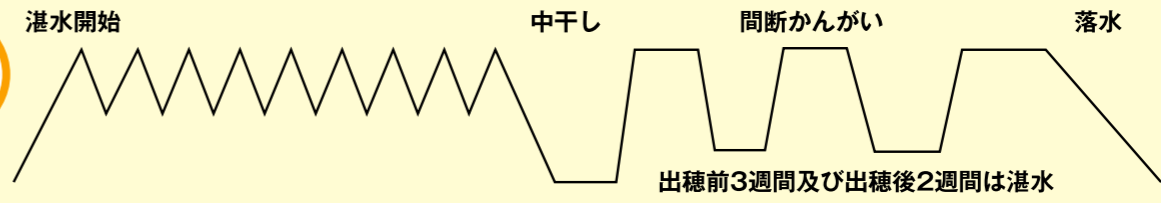
★乾燥と調製

- うるち品種の混入を防ぐために、乾燥機、調製機械を清掃しておく。
- 玄米水分14.5~15.0%まで乾燥する。
- 網目1.9mmで選別すると玄米品質が安定する。



千葉県マスコットキャラクター チーバくん

水管理



病害虫・雑草防除

★雑草防除

- ほ場の発生草種、草種の葉齢に応じた適切な除草剤を使用する。
- 田植え同時散布をする場合は「田植同時散布」の登録のある除草剤を使用する。
- 除草剤散布後7日間は止水管理とし、排水及び入水はしない。

★病害虫防除

- 病害虫の発生状況をよく観察し、また発生予察情報を参考にして適切に防除する。

種子の特徴

「ふさのもち」の種子(もみ)は、今までの品種の種子と比べ、籾の先端が赤黒く、全体的に色付きが濃いのが特徴です。これは「ふさのもち」品種特有の色であり、病害等の影響ではありません。



ふさのもち



コシヒカリ